



2021.4 No 7

はたけ便り

NPO 法人みんなのプロジェクト
福岡市早良区梅林6-23-3
Mail: hatakenoie2020@gmail.com

「トクベツ、～ フツウ、」

水野 英尚

ドキュメンタリー映画「普通に死ぬ～いのちの自立～」(<http://www.motherbird.net/~ikiru2/>)を、今年の7月に上映会&シンポジウムとして開催しようと、実行委員による試写会を行ないました。前編となる「普通に生きる～自立をめざして～」(<http://www.motherbird.net/~ikiru/>)から10年の歳月を経た作品です。

重い障がいのある子どもたちが学校の卒業に伴い、その先の居場所づくりに奔走した親や支援者たちがやがて直面していることは、これまで当たり前にあった「家族介護」が、老いや病によって失われていく時、障がいのある彼(女)たちの「生活の場」は、もろくも崩れてしまう現実でした。「私はあの子を残して死ねない」「その時になってからでは遅い…」「私が子どもから離れられなかった…」介護を続けた親たちの言葉です。この映画タイトルにある「普通に生き～普通に死ぬ、ということ」は、障がいのある子どもたちだけでなく、自らの人生をあきらめるかのように歩んできた、「親、たちにとっても重要なテーマだ」と思います。私たちは、子の「自立」と共に親たちの「自立」も考えていかなければならないのではないのでしょうか。その背景には、「トクベツ、な子育て、トクベツ、な教育、トクベツ、な医療や福祉を享受する生活があり、「家族介護」という「トクベツ、な土台」によって、人生を成立させていることにあります。ところが、やがて「トクベツ、」が無くなり「フツウ、」へと、切り替わる時が訪れてきます。つまり、介護ができなくなる「その時、」です。これからの暮らしをどうするのか、子どもや親が葛藤し、支援者が戸惑いや不安を覚えます。しかし一方で「自立」とは何であるのか、支え支えられるとは何か、私たちはどう生きるのか、そうした一人一人の「いのちの自立」の始まりとも言えます。私たちは、やがて死ぬ存在です。そこには、誰一人例外はありません。あの人だけ「トクベツ、」はありません。であるならば、この「トクベツ、」から出て、「フツウ、」であることとは何か、今一度考えてみる必要があります。そこから、本来の「いのち、」の道筋が見えてくるのではないのでしょうか。



いのちの自立、で暮らす ～新たな住まい方へのチャレンジ～

参加無料
予約先着
120名様

2021年7月10日(土)

福岡市科学館6階サイエンスホール

9:30 開場
10:00 上映「普通に死ぬ～いのちの自立～」
12:00 休憩
13:00 「SheardHome はたけのいえ」の取り組み
13:20 シンポジウム
15:20 会場とディスカッション
16:00 終了

☆シンポジスト☆

西宮市社会福祉協議会常務理事 清水 明彦さん
有限会社しえあーど代表 李国本 修慈さん
マザーバード映画監督 貞末 麻哉子さん



参加申込: hatakenoie2020@gmail.com に氏名と人数をお知らせご予約下さい。
また、車いすでご参加の方はその旨をお知らせください。お問合せ先: 090-7921-7584(水野)
※新型コロナ感染拡大によっては、シンポジストのリモート出演に変更する可能性があります。

主催: NPO法人みんなのプロジェクト 協力: (医)にのさかクリニック、地域生活ケアセンター小さなたね、地域生活応援たねプラス

「SharedHome はたけのいえ」 介助者募集！！

～あなたの `お時間、少しだけないでしょうか？～

資格・内容等について知りたい方は、以下の連絡先迄お気軽にどうぞ！

連絡先: 090-7921-7584(水野)

サポーター会員の登録ありがとうございます。

水野 創造様、原田 翼様、和田 節子様、福田 多美枝様、海老原 俊恵様

ご寄付及びご寄贈を頂きまして、誠にありがとうございました。

上舞 啓太様、福岡バタニヤ村教会様、倉光 陽大様、田中 佐和子様、島 しづ子様
古川 一喜様(順不同)